



※ | 手ぬぐいPR作戦 | ※

活動通信

No.21

2026.9.29
発行

発行：公益財団法人 日本訪問看護財団 訪問看護普及強化プロジェクト

職場のみんなで身につけ、使い方を試し、訪問先や地域へ。

No.21では、日々のケアや暑さ対策、災害研修、手作りのあずま袋など、それぞれの工夫を生かした活動をご紹介します。
手ぬぐいを楽しみながら活用する姿が、訪問看護を伝える力になっています！

01 医療法人 社団翠明会 山王訪問看護ステーション 様（千葉県）



訪問前の準備

入浴介助の時に、小さめの保冷剤を2～3個包み首に巻いて使用しました。夏場の入浴介助で頭が熱くなり気分不快になったこともありましたが、手拭いのおかげで涼しく汗も拭き取ることができて問題なくケアが進められました。

02 八王子市医師会立訪看護ステーション 様（東京都）



手ぬぐい持って訪問へGO!!

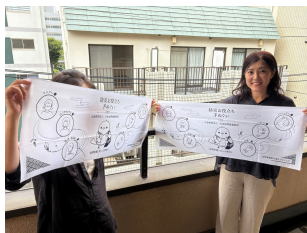
訪問時に利用者さまに、訪問看護の手ぬぐいができたよ！アピールしました。
職場内でタオルを身に着けて、啓蒙活動の協力をお願いしました。

03 リリオンナースステーション 様（青森県）



手ぬぐい巻いてレッツゴー♪

事務所で職員みんなでストレッチをしたり、手ぬぐいの中に保冷剤を入れて職員の熱中症予防をしました。



手ぬぐいで訪問看護アピール

スタッフが手ぬぐいを使用して、訪問看護をアピール



福井県看護協会でのPR

研修等で来所した訪問看護ステーション管理者・スタッフに手ぬぐい配布し、訪問時の活用とPRを行いました。ある訪問看護ステーションでは災害の研修に訪問看護の手ぬぐいを利用されました。

また、手ぬぐいであずま袋を作成し、中に熱中症予防グッズや汗拭きタオル・着替え等を入れたり等の活用方法を福井県看護協会のインスタにあげて紹介しました。また、手ぬぐいを頭にかぶり、あずま袋を持っているかんごちゃんを、訪問看護ラーニングの集合研修時受付に飾りPRしたところ、受講生に人気でした。



手ぬぐい姿のかんごちゃん



あずま袋作りしました



熱中症対策グッズを入れて

訪問前に手ぬぐいを身につけ、職員みんなでストレッチをしたり、暑さ対策に活用したり。今回のご報告からは、まずスタッフ自身が手ぬぐいを使い、その便利さや楽しさを実感しながら、利用者さんや周囲の方へ訪問看護を伝えている様子がうかがえました。

さらに、看護協会から各地域の訪問看護ステーションへ手ぬぐいが届けられ、訪問時のPRや災害研修へと活動が広がっています。手作りのあずま袋や、手ぬぐい姿のかんごちゃんなど、親しみやすく伝える工夫も生まれました。皆さまが楽しみながら重ねてくださった活動に、心より感謝いたします！



活動報告フォームは
こちら

URL <https://forms.gle/FoE8qR744dkLV1Jd6>

ご報告いただきたい内容

- ☒ 活動の内容（300字以内）
- ☒ 活動のお写真
- ☒ お写真のタイトル
- ☒ その他、ご感想など

